



大和市民活動センターは、2014年11月1日で10年目を迎えます。

2004年→2014年

この「10年の歩み」を毎月「あの手この手」に折り込んでお届けします。

<このゆびとまれっ! (夏休み中高生ボランティア体験)>

発行・大和市民活動センター 第7号 2014年10月1日発行

「このゆびとまれっ!」とは・・・

中高生が持つ時間・知恵・技術を出し合い、社会に開けば、それは皆のもの「社会資源」になります。市民の課題解決に中高生が関わる社会参加の第一歩として実施しています。また学校の先生や家族以外の「おとな」と親交を持ち、社会との関わり合いの多様性を認識することをねらいとしています。登録団体は中高生のボランティアを受け入れるにあたって、貴重な時間を割いてボランティア参加の機会を提供しています。

「市民活動で心豊かな地域づくりを」

大和市民活動センター開設10周年おめでとうございます。当、大和芸術文化振興会は、多くの方々に芸術鑑賞の機会を提供するとともに、自主的な活動支援など、芸術文化活動を推進し、心豊かな地域を目指すための一環として、2011年から、「このゆびとまれっ!」の受け入れ団体として参加してまいりました。視覚障害者と中高生との「ふれあいコンサート」を始め演奏家「会員」とボランティアが手を取り合って「親子で楽しむコンサート」や「やまとっ子芸術探検隊」「お届けコンサート」や「ティータイムコンサート」「0歳児からのコンサート」など幅広い事業を推進してきました。「センター」を通して受け入れた中高生は、会場準備・受付・ケータリング・照明・音響・案内係などを担当し素敵な笑顔で来場者とのコミュニケーションをとりながら与えられた業務を的確にこなしました。毎回、来場者から温かいお言葉をいただいています。今後も、素晴らしい活動を展開している中高生ボランティアや活動団体のみなさんと連携し、「大和に住んで良かった、あの大和に住んでみたい」そんな文化の薫りする『郷土大和』づくりに力を注いでいきます。また多くの登録団体がこれまで「このゆびとまれっ!」事業に参加し、大きな成果をあげることができました。市民活動センターの尽力と温かい心に感謝とお礼をもうしあげます。

大和市民活動センター 小林三夫



「夏の思い出」文集も楽しみ!

2008～2014年 11団体 に協力いただきました。

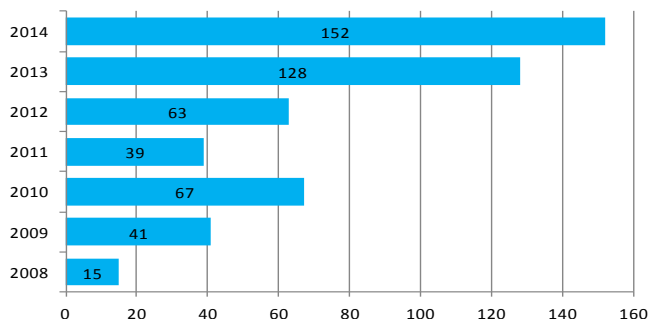
- ・地域家族 「しんちゃんハウス」
- ・サポートハウス「ワン・ピース」
- ・なかよし公園
- ・科学探検隊
- ・サウンドテーブルテニスクラブ
- ・チームピースチャレンジャー
- ・大和市芸術文化振興会
- ・引地川水とみどりの会
- ・WE21ジャパン大和
- ・デイサービス「ハッピー鶴間」
- ・げんきステーション「より道一休」

今まで市内外の22校が参加しています。市内外の生徒が応募し、特にボランティア担当教諭がいる学校は人数などから見ると、ボランティア活動が盛んに思われます。

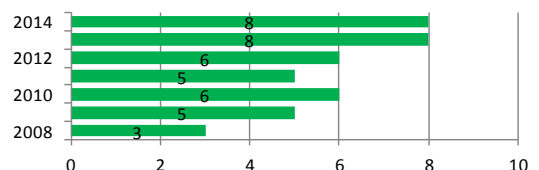
「オリエンテーション」で、活動注意点などが説明され、センターには活動名簿が記録されます。また活動後には「夏の思い出」文集を発行しています。



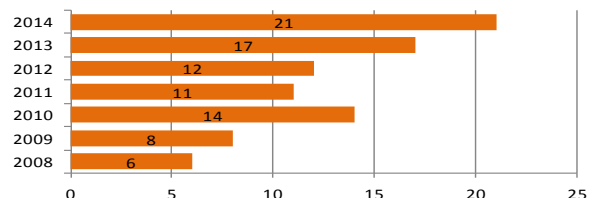
中高生参加(延べ人数)



ボランティア受入団体数



ボランティア活動日数



＜このゆびとまれっ（夏休み中高生ボランティア体験）＞  
ボランティア はじめの一步！



いろいろなボランティア活動を体験しました。

- ・視覚障害者：誘導體験・卓球をする・コンサート鑑賞
- ・子育て支援：公園で子どもたちと遊ぶ
- ・高齢者支援：デイサービス訪問・手作りラジオプレゼント
- ・環境保全：引地川の掃除
- ・国際交流：ミサンガの袋詰め
- ・国際支援：販売・接客・整理
- ・芸術文化：準備・受付・後片付け・楽器の移動・照明・幼児の見守り
- ・知的障害者：絵を描く・ダンボールで工作・公園で水鉄砲・紙飛行機で遊ぶ  
一匹チュウ人形劇



文集「夏の思い出」より

●2012年 環境支援サポーター（引地川の清掃）

柴田綾菜 座間高校3年

今回2回目の川の清掃ボランティアの参加だったのですが、少しでも環境保全へ貢献できたと思うのでよかったです。今年は受験なので、落ち着いたらまた参加したいと思います。大学は環境系の学部に入りさまざまな保全活動をしたかったです。ありがとうございました。

●2012年 子育て支援サポーター

（しんちゃんハウスで子どもと遊ぶ）

渡辺佳奈 昭和女子大付属高校3年

室内では、トランプやオセロなどで遊んだり、外ではケイドロ、リレーをして子どもたちとたくさん遊べて良かったです。今回は主に子どもたちと遊びましたが、その中で「あぶないからだめだよ」などと言う注意もすることができて良かったです。小1から小6までいろいろな学年の子どもとふれあえて、本当に良かったです。ケイドロをするとき、結構本気で走りましたが、すぐおいつかれてしまって、驚きました。しんちゃんハウスでこのような経験をすることができて良かったです。またこのボランティアができればぜひ参加したいです。今日はありがとうございました。

●2013年「夏の思い出」より抜粋

高橋ミヤ サウンドテーブルテニスクラブ

大木博子さんのピアノ伴奏で砂川真緒さんが歌うソプラノでの鈴を転がすような歌声と会場の皆さんと一緒に歌った唱歌等々、本当に楽しい一時はあつと言う間でした。（居心地の良い午後のひととき、もう少し聴いていたかった。）その後学生ボランティア一般ボランティアとの交流会、盲導犬の役割や私達の日常生活体験談等を聞いてもらい、今迄以上に障害者への理解を深めてくださった様でした。又、賑やかな団欒の中で更に相互の情報交換も出来たことが嬉しく思います。最後にこの夏の思い出のひとつとして楽しい企画を立てて下さった市民活動センターの皆様方に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

●視覚障害者の誘導體験 2011年・2012年

斉藤瑞希 柏木学園高校3年

初めての体験でとても大変でした。自分が誘導してもらっている時は、まったく前がみえなくて不安で怖かったです。今回教えてもらったので、これからは誘導ボランティアにも参加してみたいと思います。



本告（もとおり）寺彦さん  
80才代とは思えないほどメリハリのある厳粛な講義内容でした。



裏方の「ちらし作り」  
～この指にとまったのは？～

大和市民活動センターのフリースペースに数名の高校生が集まりました。「丁度良かった！“このゆび”に何がとまったらいい？」とスタッフ。すると「回転ブランコで、みんながぶら下がる！」大笑いから始まりました。「指に何がとまったら、うれしいかな？」いろんな意見が出ました。

「蝶が良い」「カブトムシだよ」「てんとう虫がかわいい」など、なかなか決まりません。そんな中、担当スタッフのひと声でトンボにきまり！

